

第9回

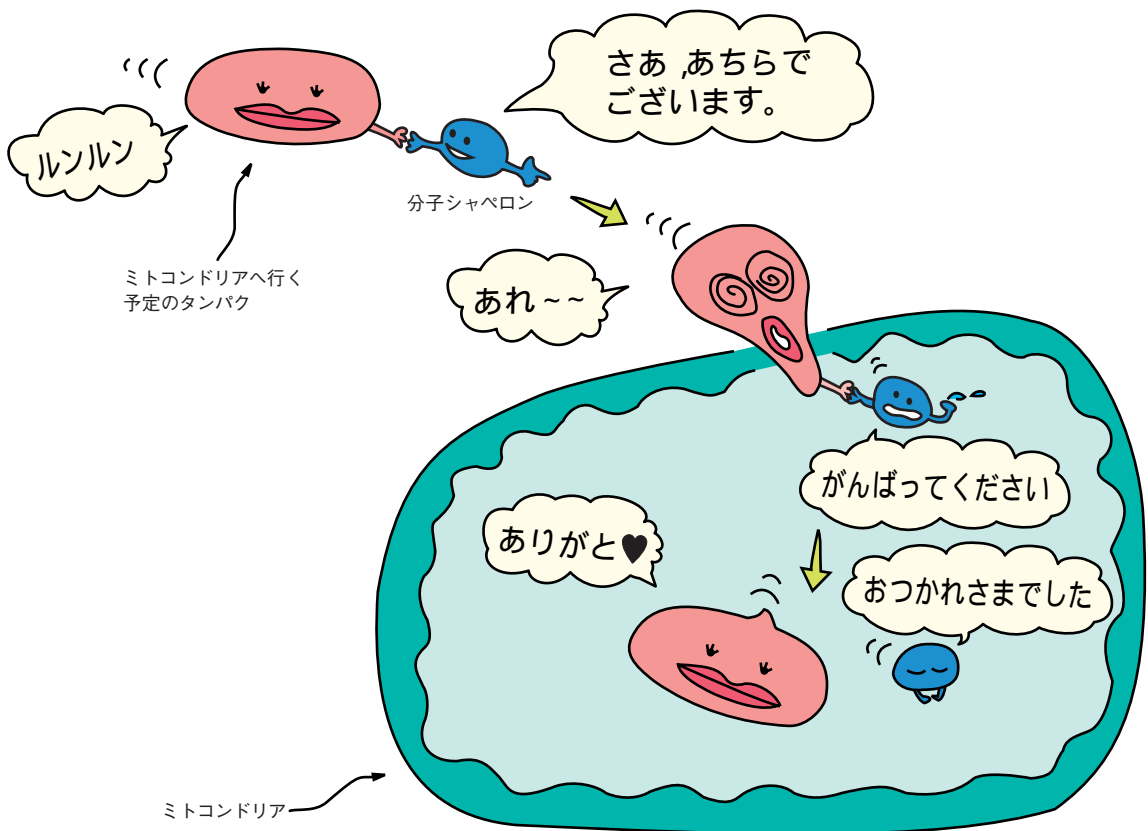
「場」の生物学 その2 . - けなげな分子シャペロン物語 -

萩原 清文*作

多田 富雄**監修

◆細胞や生体分子は、それぞれ適切な場で機能を発揮する。細胞を適切な場へと導くのがケモカインとすれば、細胞の中で分子を適切な場へと導くのが分子シャペロン*)である。今回はこの裏方たちの働きぶりをのぞいてみよう。

◆ミトコンドリアなどの細胞内小器官にタンパクが行けるのは分子シャペロンのおかげである。



*) 分子シャペロン (シャペロン=介添え人) の機能としては以下のようなものがある。

- 1) 分子を適切な場へと運ぶ。
- 2) 分子を適切な形へ整える。
- 3) 分子と分子を会合させる。

* 東京大学医学部アレルギー・リウマチ内科
** 東京大学名誉教授

◆ 分子を適切な場へ導いたあと死んでしまうけげな分子シャペロンもある。

